

基本施策 4 観光の振興

■めざすまちの姿

最大の観光資源である豊かな森林資源と発酵のふるさと、日本酒発祥の地など、宍粟市特有の地域資源を生かしたまちの魅力づくりによって、関係人口・交流人口が拡大し、観光産業のみならず地域経済全体で雇用創出が図られるなど、観光が森林、文化、産業と融合し、地域が活性化した賑わいのあるまちをめざします。

■現状

- ◇近年の宍粟市への観光入込客数は年間 120 万人前後で推移しており、そのうち日帰り客が大半を占めています。
- ◇しそ森林王国観光協会との連携や森林管理署、地域、個人や団体との調整により、森林セラピーの推進、日本酒発祥の地、発酵のまちづくりのPRを展開しています。
- ◇フェイスブックやアンテナショップでのPRのほか、都市部や播磨地域のイベント等で特産品や観光地のPRをしています。
- ◇道の駅や店舗への宍粟材で製作した自転車ラックの設置や連携中枢都市圏域事業を通じた宍粟市のサイクリングコースの設定、サイクリングイベント等を実施しています。
- ◇官民連携により、関係・交流人口の拡大に向けて、市北部地域でのアウトドア観光を中心とした観光の振興に着手しています。
- ◇江戸後期以降の酒蔵や町家が並ぶ山崎町山崎地区が令和元（2019）年 11 月に県の歴史的景観形成地区に指定され、令和 3（2021）年 7 月には、当該地区にある中門前屋主屋が国の登録有形文化財に指定されるなど、市内の文化財における観光価値が高まっています。

■課題

- ◇観光プラットフォームの拠点となる観光ステーションの設置、また、市内を循環しながら繰り返し訪れてもらえるよう、宍粟市ならではの体験や地域住民との交流など、地域資源を最大限に活用した体験型観光のコンテンツづくりが必要です。
- ◇宍粟市への観光客は阪神間、岡山県、鳥取県からが多いものの、近県及び県内でも宍粟市の認知度は低い状況にあり、近隣を中心に多様な媒体を活用した市の魅力の効果的発信が必要です。
- ◇定住自立圏 2 市 2 町（たつの市・宍粟市・佐用町・上郡町）や連携中枢都市圏 8 市 8 町（播磨地域）など、周辺自治体との連携のもと広域による観光ルートづくりが必要です。
- ◇森林セラピーとカヌー体験など地域資源と観光・スポーツをセットにしたプログラムの強化や団体・企業向けのプログラムを開発していくことが必要です。

■個別施策の方向性と主な取組（★は総合戦略事業に関連する取組）

<p>① 観光資源の有効活用（★）</p> <p>《施策の方向性》</p> <p>観光地としての魅力向上と国内外からの誘客を図るため、観光施設の機能強化とネットワーク化を推進します。</p>

<p>《主な取組》</p> <p>①-1 「ふるさと宍粟観光ステーション」の設置や市内に点在する観光施設とのネットワーク化に取り組むとともに観光施設等の機能強化や自然資源を生かしたアウトドア観光の拠点となる施設の整備などにより観光客の誘客を図ります。</p> <p>①-2 観光バスの運行ルートや駐車場の確保等、自動車による観光がしやすい環境づくりを行います。</p> <p>①-3 「日本酒発祥の地」「発酵のふるさと」をキーワードに、「食」や地域の歴史・文化を観光資源として生かすとともに、特産品ブランド認証制度の積極的なPRを含め、観光地としての魅力向上を図ります。</p>
<p>② 体験型ツーリズムの推進（★）</p> <p>《施策の方向性》 豊かな森林や美しい農村景観など宍粟市ならではの地域資源を生かした体験型観光を推進します。</p> <p>《主な取組》</p> <p>②-1 地域資源を生かし、50名山や音水湖におけるカヌーなどでの自然体験や地元の農業体験と宿泊を組み合わせたツアー構築、たたら製鉄、産業遺産、発酵、日本酒づくりをテーマにした観光など、観光ニーズの変化に対応した新たな取組を推進します。</p> <p>②-2 歴史・文化の面で宍粟市と共通するテーマを持つまちとの連携により、観光客の誘致につなげます。</p> <p>②-3 森林セラピーとその他の体験の連携などグリーンツーリズムの充実を図ります。</p>
<p>③ 観光客受入体制の充実（★）</p> <p>《施策の方向性》 観光事業を担う人材の確保及び育成を行うとともに、集客向上に向けた取組を展開します。</p> <p>《主な取組》</p> <p>③-1 しそう森林王国観光協会の運営や事業展開への支援を通じ、観光ガイドや参加・体験メニューの指導者・協力者など観光振興を担う人材の育成・支援及び地域活動団体との連携や、観光受入体制の充実を図ります。</p> <p>③-2 観光関連事業者・団体と農林業、飲食業、商工業など異業種連携及び地域との連携体制づくりを推進します。</p> <p>③-3 インバウンド獲得に向け、市内事業者との連携及び他自治体との広域連携などの取組を推進します。</p> <p>③-4 市民の参加による民泊を促進し、滞在型観光の充実を図ります。</p>
<p>④ 魅力の発信の強化（★）</p> <p>《施策の方向性》 知名度向上と観光集客力の強化のため宍粟の魅力を効果的・戦略的に発信します。</p> <p>《主な取組》</p> <p>④-1 市内の観光資源と日本酒発祥の地といわれる庭田神社などの文化財や歴史を効果的に結びつけ、総合的、戦略的な観光プロモーションを展開します。</p> <p>④-2 県や近隣市町、関係機関と連携し、はりま酒文化ツーリズム事業などの広域的な観光事業を推進します。</p> <p>④-3 地域の観光魅力の情報を市民と共有し、SNS等を通じた口コミによる観光プロモーションを推進します。</p>

【資料①-9】

■まちづくり指標

指標名	単位	現状値 (R2)	目標値 (R8)	数値の出所（算出方法）
観光入込客数	千人/年	979 (R1)	1,165	「兵庫県観光客動態調査」による
【目標値の考え方】人口減少に伴い観光客が減少する中、第2次総合計画の初年度（H28）実績まで増加させることを目標とする。				
道の駅利用者数	千人/年	422 (R1)	441	それぞれの道の駅からの年間事業報告
【目標値の考え方】人口減少に伴い観光客が減少する中、第2次総合計画の初年度（H28）実績まで増加させることを目標とする。				
森林セラピー体験者数	人/年	597 (R1)	3,000	担当課保有の管理台帳
【目標値の考え方】R5年度までに1,000人、R8年度に3,000人を目標とする。				

■関連する個別計画

- ・ふるさと宍粟の観光基本計画